

平成20年5月30日 西日本新聞より抜粋

21 県総合 18版 2008年(平成20年)5月30日 金曜日 西日本新聞

### 2012年春開校の特別支援学校

特別支援学校の敷地がまわった福岡農高の敷地



県教委は、福岡都市圏南部に二〇一二年春に開校予定の県立特別支援学校を、福岡農業高校(太宰府市大佐野)の敷地内に設置することを決めた。知的障害と肢体不自由の児童・生徒が学ぶ特別支援学校を、農業高内に設置するのは全国的にも珍しいという。農業高の施設や実習ノハウを活用し、特別支援学校の

## 福岡農高の敷地に設置

太宰府市大佐野 県教委が決定

授業に農業体験などを採り入れる方針のほか、農業高の生徒との交流も目指す。

授業に農業体験などを採り入れる方針のほか、農業高の生徒との交流も目指す。県教委によると、福岡農高の敷地(四十四万平方メートル)内に、新設の特別支援学校用地(約二万五千平方メートル)を確保。校舎やグラウンド、体育館、プール、実習施設などを設置する予定だ。都市圏南部を中心に最大で約二百三十人の児童・生徒の通学を想定する。福岡農高は、生徒実習用の果樹園や水田、野菜園、花園など(計十九万七千三百平方メートル)を備えている。高校生が周辺住民に野菜づくりを指導するなど地域交流も盛んで、県教委は特別支援学校の授業や活動に野菜や果樹、花き栽培などを盛り込みたい意向だ。県教委は本年度予算に新設校の基本設計費として二億三千万円を計上。今後、具体的な設置場所などを決める。福岡農高を新設場所に決めた理由について①同校が都市圏南部のほぼ中央に位置する学校前を路線バスが運行②県の財政難で新たな用地確保が難しい③などを挙げている。これまで都市圏南部には特別支援学校がなく、肢体の不自由な子は福岡養護学校(新宮町)に知的障害の子は小郡養護学校(小郡市)に通っていた。都市圏南部の人口増に伴い、県教委が設置方針を示している。

### 特別支援学校

# 地域を知って、参加して、考え、伝えて、行動する。

**一般質問**  
**二月定例議会**

【高齢者の安全を守る対策について】  
福岡県の二十年度重点施策七つの大系の一つである「健や

【知事答弁】  
高齢者の安心・安全は大きなテーマである。各部門の施策を合わせたものとするには様々な実情や事業の展開情報を各部門が共有し、共通認識

【知事答弁】  
河川改修といった治水対策をさらに推進し、より迅速な防災情報の提供、県民の自主防災意識の向上、さらに集中豪雨時の急激な出水を和らげる都市の雨水貯留機能の向上がより重要となってきた。今後このような政策を推し進めていく。

【知事答弁】  
県内に、急な坂道のある団地は、105団地あり、16の団地から要望があり、11の団地において整備が完了している。

【知事答弁】  
高齢者の安心・安全は大きなテーマである。各部門の施策を合わせたものとするには様々な実情や事業の展開情報を各部門が共有し、共通認識

【知事答弁】  
地球温暖化に伴う気候変動対策について質問しました。深刻な問題を抱える地球環境。地球温暖化がもたらす現象と言われる突然の集中豪雨に対するため、中長期的な戦略を検討する内閣府のプロジェクトを立ち上げて、ヒートアイランド対策に取り組むべきではないか。

【知事答弁】  
河川改修といった治水対策をさらに推進し、より迅速な防災情報の提供、県民の自主防災意識の向上、さらに集中豪雨時の急激な出水を和らげる都市の雨水貯留機能の向上がより重要となってきた。今後このような政策を推し進めていく。

【知事答弁】  
県内に、急な坂道のある団地は、105団地あり、16の団地から要望があり、11の団地において整備が完了している。

【知事答弁】  
高齢者の安心・安全は大きなテーマである。各部門の施策を合わせたものとするには様々な実情や事業の展開情報を各部門が共有し、共通認識

【知事答弁】  
地球温暖化に伴う気候変動対策について質問しました。深刻な問題を抱える地球環境。地球温暖化がもたらす現象と言われる突然の集中豪雨に対するため、中長期的な戦略を検討する内閣府のプロジェクトを立ち上げて、ヒートアイランド対策に取り組むべきではないか。

【知事答弁】  
河川改修といった治水対策をさらに推進し、より迅速な防災情報の提供、県民の自主防災意識の向上、さらに集中豪雨時の急激な出水を和らげる都市の雨水貯留機能の向上がより重要となってきた。今後このような政策を推し進めていく。

【知事答弁】  
県内に、急な坂道のある団地は、105団地あり、16の団地から要望があり、11の団地において整備が完了している。

【知事答弁】  
高齢者の安心・安全は大きなテーマである。各部門の施策を合わせたものとするには様々な実情や事業の展開情報を各部門が共有し、共通認識

【知事答弁】  
地球温暖化に伴う気候変動対策について質問しました。深刻な問題を抱える地球環境。地球温暖化がもたらす現象と言われる突然の集中豪雨に対するため、中長期的な戦略を検討する内閣府のプロジェクトを立ち上げて、ヒートアイランド対策に取り組むべきではないか。

【知事答弁】  
河川改修といった治水対策をさらに推進し、より迅速な防災情報の提供、県民の自主防災意識の向上、さらに集中豪雨時の急激な出水を和らげる都市の雨水貯留機能の向上がより重要となってきた。今後このような政策を推し進めていく。

【知事答弁】  
県内に、急な坂道のある団地は、105団地あり、16の団地から要望があり、11の団地において整備が完了している。

【知事答弁】  
高齢者の安心・安全は大きなテーマである。各部門の施策を合わせたものとするには様々な実情や事業の展開情報を各部門が共有し、共通認識

【知事答弁】  
地球温暖化に伴う気候変動対策について質問しました。深刻な問題を抱える地球環境。地球温暖化がもたらす現象と言われる突然の集中豪雨に対するため、中長期的な戦略を検討する内閣府のプロジェクトを立ち上げて、ヒートアイランド対策に取り組むべきではないか。

【知事答弁】  
河川改修といった治水対策をさらに推進し、より迅速な防災情報の提供、県民の自主防災意識の向上、さらに集中豪雨時の急激な出水を和らげる都市の雨水貯留機能の向上がより重要となってきた。今後このような政策を推し進めていく。

【知事答弁】  
県内に、急な坂道のある団地は、105団地あり、16の団地から要望があり、11の団地において整備が完了している。



連続立体交差事業西鉄天神大牟田線(春日原~下大利) 約3.4km 平成26年度完成を目指しています。



道路改良事業:飯塚大野城線(通称那珂川宇美線) 大野城市域のバイパス工事約2.4km 平成29年度完成を目指しています。



福岡日田線(通称旧国道3号線) バリアフリー歩行空間ネットワーク整備 錦町交差点から山田交差点まで約500m 平成22年度完成を目指しています。



着々と進む県事業



1月 文教委員会管外視察(奈良国立博物館)



2月 芝居や歌、踊りと地域で親しまれる「南ヶ丘劇場」 「きよしのズンドコ節」を歌っていますが、雰囲気だけ最高



2月 国際交流推進対策調査特別委員会でベトナム訪問。ハイノ市と友好提携都市調印式



3月 子どもの頃の遊び場だった三兼地周辺の 上大利北土地区画整理事業が竣工しました。



5月 全国初民間委託のワンストップサービス 総合窓口「まどかフロア」グランドオープン



5月 九州各県議会議員親善野球大会 主将選手宣誓(春日公園球場)



6月 北京オリンピック水泳競技 春口沙緒里選手 所属するスポーツクラブフェニックスを訪問



7月 文教委員会管内視察 (朝倉光陽高等学校)



8月 北京オリンピック水泳競技 柴田隆一選手と春口沙緒里選手手応接



8月 福岡県友好提携都市 バンコク都議会交流訪問



10月 自民党福岡県議団首相官邸訪問 麻生総理に要望活動



11月 一人暮らしの高齢者を招く「番茶の会」 市内4コミュニティで行われました。



11月 「大野城市総合福祉まつり」 総合開会式



12月 「有名プレーヤーによるスポーツ教室」 宇津木妙子総監督の機関銃ノックに挑戦



12月 大池区餅つき大会(井本市長と) たくさんの餅つきに参加しました。



第45回九州各県議会議員親善野球大会